

図書館だより

開館時間(共通) 9時～17時30分

☎ 中央図書館 0558-76-5566

☎ 葦山図書館 055-949-8605

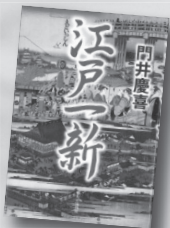
URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>



今月のおすすめ

一般

【中央】
【葦山】



江戸一新
門井慶喜／著
中央公論新社

『家康、江戸を建てる』の数十年前。「明暦の大火」で燃えつきた江戸の建て替えに乗り出した老中・松平伊豆守信綱。難事業に立ち向かった「知恵伊豆」の人間ドラマ。

一般

【中央】
【葦山】



名探偵外来
—泌尿器科医の事件簿—
似鳥鶏／著
光文社

泌尿器科医・鮎川のもとには今日も多くの患者が訪れる。中には羞恥心から嘘をついたり、不調の原因を隠したり、秘密を抱えている人も。多様な謎に挑む医療ミステリー。

一般

【中央】



ソロバン・キッド
犬飼六岐／著
集英社

戦後の東京。米国の新型電気計算機と日本のソロバンとの計算試合が催された。日本代表に選ばれたのは、通信省職員竹崎晴夫。知られざる史実を基にしたフィクション。

一般

【葦山】



子どもお悩み相談会
角田光代ほか／著
中央公論新社

子どもの毎日は山あり谷あり。第一志望の学校に落ちた、体育が好きになれない、趣味がない、など。東直子、町田康など作家7人が提案する、とっておきの迷回答。

新着本コーナーから

- | | | | |
|----|------------------|---------|---------|
| 一般 | ワンダーランド急行 | 荻原浩／著 | 【中央・葦山】 |
| 一般 | 名探偵のいけにえ | 白井智之／著 | 【中央】 |
| 一般 | 中庭のオレンジ | 吉田篤弘／著 | 【葦山】 |
| 一般 | 父のしおり | 石原慎太郎／著 | 【葦山】 |
| 一般 | 超インフレ時代の「お金の守り方」 | 藤巻健史／著 | 【中央】 |
| 一般 | 家康の本棚 | 大中尚一／著 | 【葦山】 |
| 児童 | うさぎのさとうくん あさひ | 相野谷由起／作 | 【中央】 |

3月の図書館カレンダー

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

○ 中央休館日 □ 葦山休館日
◇ 両館休館日 ☆ おはなし会

3月のおはなし会

中央図書館 お休みします。
葦山図書館 25日(土)11時～
※事前申し込み不要

くぬぎ会館こども広場
16日(木)10時10分～
※予約制 ☎ 0558-76-1346

お知らせ

3月6日(月)～15日(水) 臨時休館します

図書館システム入れ替えのため、中央・葦山両館とも休館させていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

- ・期間中は、HPも利用いただけません。
- ・電話による貸出延長や予約、資料の問い合わせなどにもお応えできません。
- ・返却は、各館のブックポストをご利用ください。

新システムでは、新しいサービスが始まります。詳しくは次号でお知らせします。

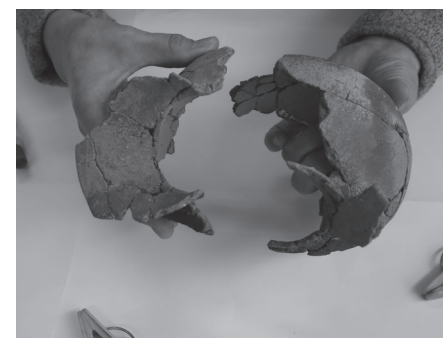
文化財通信

その213

文化財課って何をしているところ？

お仕事紹介 その3

☎ 文化財課 ☎ 055-948-1428



▲土器の接合作業

文化財課の施設である文化財調査室は、野外活動センター(旧大仁東小学校)内にあります。主な仕事は発掘調査出土品の整理、管理、発掘調査報告書作成です。また、県内の市町や他県の博物館などからの調査依頼に対応したり、展示のための貸出手続きも行っています。

出土品の整理は、発掘された土まみれの土器などを洗浄することから始まります。洗浄した後は、出土した地点や層を1点ごとに筆で書き入れます。鉄製品や木製品は劣化しやすいので、特別な処理を施します。その後、ばらばらのかげらを接合して、元の形に復元していきます。このよ

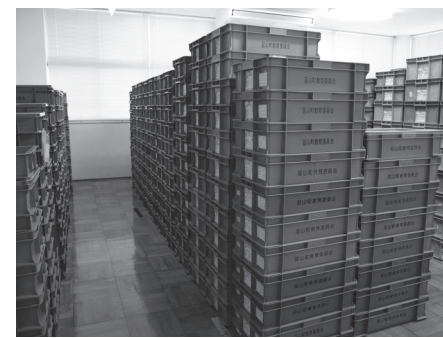


▲パソコンを使った製図作業

うにして、復元された土器や陶磁器の一部は、郷土資料館で展示しています。

整理された出土品は、野外活動センター内に遺跡ごと、種類ごとに収納されています。その量は、旧3町時代に発掘された資料も合わせるとコンテナ容器で約3,000箱にもなります。

発掘調査報告書は、調査した遺跡の内容、見つかった遺構や遺物などの成果をまとめたもので、いわば遺跡の履歴書といえるものです。報告書に掲載する遺構や遺物の図を作成することも、文化財調査室の主要な業務です。1点ずつ異なる形状の土



▲出土品を収蔵したコンテナ容器

器や石器の図化を機械化するのには難しく、人の手作業で行うしかありません。しかし、最近のデジタル機器の進化もあり、仕上げの製図作業にはパソコンを活用しています。

文化財調査室では、郷土資料館が収集した民具なども収蔵、管理しています。これら出土品や民具は、一見すると茶碗のかけらや古ぼけた道具に見えますが、全て伊豆の国市の歴史を語る貴重な文化財なのです。

※文化財調査室に収蔵している資料の見学や調査を希望する場合は、事前に文化財課にご連絡ください。